平成 29 年 10 月 27 日(金)発行

奈良県感染症情報

平成 29 年 42 週(10 月 16 日～ 10 月 22 日)
奈良県感染症情報センター(奈良県保健研究センター)
http://www.pref.nara.jp/27874.htm TEL:0744-47-3183

今週の概要

- 小児科外来情報
- 気になる話題 ノロウイルスについて ～その 2～

❖定点把握感染症報告状況(定点当たり患者報告数の上位5疾患)❖

順位	疾患名	奈良県			北部	中部	南部
		定点当たり	(前週)	増減			
1	感染性胃腸炎	3.15	(2.71)	↗	↑	→	↘
2	手足口病	2.41	(1.76)	↑	→	↑↑	↓
3	RS ウイルス感染症	1.85	(1.79)	↘	↘	↘	↓
4	A群溶連菌咽頭炎	1.53	(1.79)	↗	↑	→	↓
5	ヘルパンギーナ	0.68	(0.26)	↗	↑	↑	↓

発生状況:大流行 流行 やや流行 少し流行 散発 (疾患毎に、基準値を定めています。)
増減:過去5週間平均数と比べたときの変化 ↑↑急増、↑増加、↗やや増加、→横ばい、↘やや減少、↓減少

❖県内概況❖

感染性胃腸炎の報告は、増加傾向です。ノロウイルスにはワクチンがなく、有効な予防法は手洗いです。石けんと流水を用いた手洗いを励行しましょう。また、食品を生で食べることは避け、よく加熱して食べるようにしましょう。

インフルエンザの報告は、奈良市保健所管内から 3 例、中和保健管内から 4 例ありました。

手足口病は、例年同時期よりも報告数の多い状況が続いています。治った後でも、比較的長い期間、便などからウイルスが排泄されることがあります。排泄物を適切に処理し、手洗いも忘れず行いましょう。

✤小児科外来情報✤

北部地区(矢追医院)

感染症は少ないが、インフルエンザ予防接種希望者で混雑しています。インフルエンザは 7 月に発症者が出て以来、久しぶりに高校生で A 型が先週 1 名ありました。RS ウイルスの気管支炎の流行はそろそろ縮小しています。替わって、嘔吐と腹痛、下痢の感染性胃腸炎が少しですがみられるようになっています。夏かぜの手足口病やヘルパンギーナは少数ですが未だにみられます。

中部地区(岡本内科こどもクリニック)

発熱、鼻汁、軽度の咳嗽の感冒症状例が増加。
乳児で RS 陽性例、RS 様例も続いている。感染性胃腸炎は嘔吐が主のノロ様例が出てきはじめた。
水痘が散発。手足口病がまだ見られた。
インフルエンザはまだない。

南部地区(南奈良総合医療センター小児科)

RS ウイルス感染の流行はやや落ち着きだした。遷延する呼吸器症状のなかにはマイコプラズマ感染症がみられた。

ノロウイルス胃腸炎の流行はまだない。インフルエンザもまだ発生していない。

❖定点把握感染症報告状況❖

平成 29 年 第 42 週 10 月 16 日 ～ 22 日

保健所別報告数	奈良県	北部		中部		南部	
		奈良市	郡山	中和(東)	中和(西)	内吉野	吉野
インフルエンザ定点数	*54*	*14*	*14*	*11*	*10*	*2*	*3*
インフルエンザ	7 (0.13)	3 (0.21)		1 (0.09)	3 (0.30)		
小児科定点数	*34*	*9*	*9*	*7*	*6*	*1*	*2*
RSウイルス感染症	63 (1.85)	10 (1.11)	14 (1.56)	24 (3.43)	13 (2.17)		2 (1.00)
咽頭結膜熱	12 (0.35)	1 (0.11)		4 (0.57)	5 (0.83)		2 (1.00)
A群溶連菌咽頭炎	52 (1.53)	7 (0.78)	17 (1.89)	3 (0.43)	24 (4.00)		1 (0.50)
感染性胃腸炎	107 (3.15)	34 (3.78)	26 (2.89)	21 (3.00)	24 (4.00)	1 (1.00)	1 (0.50)
水痘	14 (0.41)	2 (0.22)	6 (0.67)	6 (0.86)			
手足口病	82 (2.41)	9 (1.00)	17 (1.89)	7 (1.00)	49 (8.17)		
伝染性紅斑	4 (0.12)					3 (3.00)	1 (0.50)
突発性発しん	17 (0.50)	6 (0.67)	6 (0.67)	4 (0.57)			1 (0.50)
百日咳							
ヘルパンギーナ	23 (0.68)	4 (0.44)	10 (1.11)	8 (1.14)	1 (0.17)		
流行性耳下腺炎	7 (0.21)		4 (0.44)	1 (0.14)	2 (0.33)		
眼科定点数	*10*	*3*	*3*	*2*	*2*	*0*	*0*
急性出血性結膜炎							
流行性角結膜炎	6 (0.60)	2 (0.67)		1 (0.50)	3 (1.50)		
基幹定点数	*6*	*1*	*2*	*1*	*1*	*0*	*1*
細菌性髄膜炎							
無菌性髄膜炎							
マイコプラズマ肺炎	3 (0.50)		2 (1.00)				1 (1.00)
クラミジア肺炎							
感染性胃腸炎（ロタウイルス）							

上段 ：報告数
（下段）：定点当たり報告数 報告数÷定点数

❖全数把握感染症報告状況❖ （ ）は保健所別内訳

1類感染症	
2類感染症	結核5件(奈良市1、郡山1、中和2、吉野1)
3類感染症	
4類感染症	
5類感染症	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症5件(郡山5)

✤第42週のトピックス✤

◆One Healthの取り組み－薬剤耐性（AMR）対策－

http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000180881.html

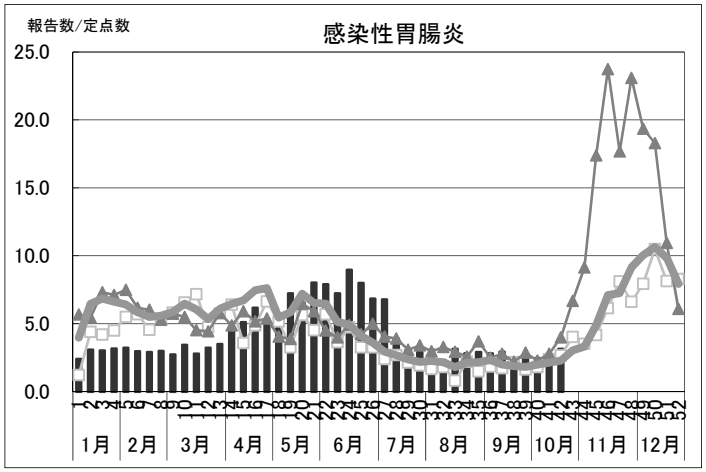
※平成27年2月16日より桜井保健所と葛城保健所は統合され中和保健所となりました。
旧桜井保健所分は中和（東）、旧葛城保健所分は中和（西）として集計しています。

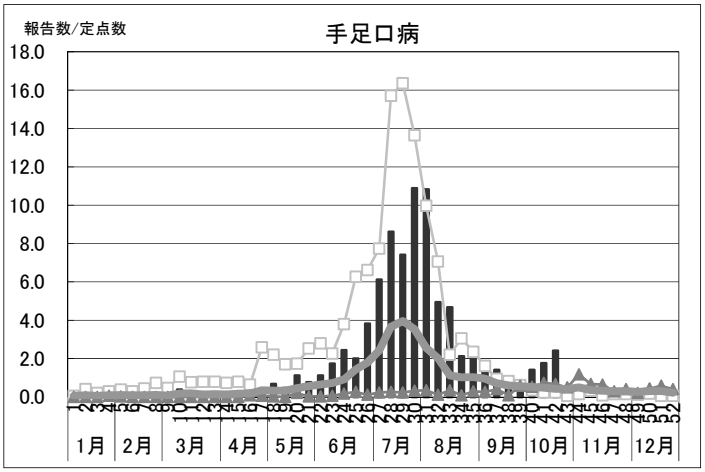
年齢別報告数

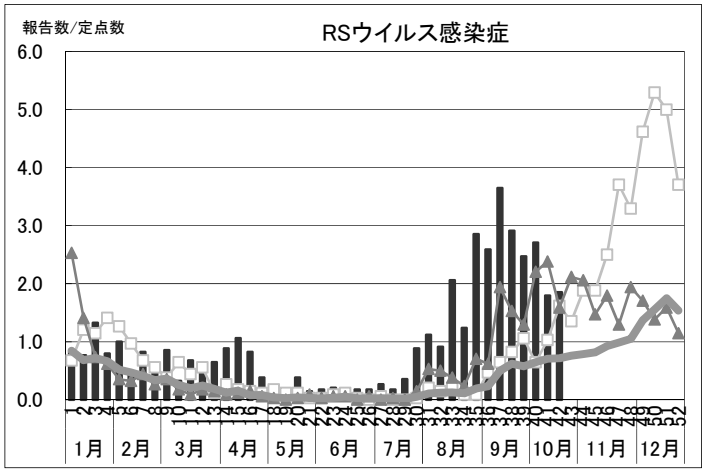
年齢区分	*年齢*	*0-5M*	*6-11M*	*1歳*	*2*	*3*	*4*	*5*	*6*	*7*	*8*	*9*	*10-14*	*15-19*	*20-29*	*30-39*	*40-49*	*50-59*	*60-69*	*70-79*	*80-*	*合計*	*累計*
インフルエンザ	男							1					1									2	5272
	女										1		2	1		1						5	5023
年齢区分	*年齢*	*0-5M*	*6-11M*	*1歳*	*2*	*3*	*4*	*5*	*6*	*7*	*8*	*9*	*10-14*	*15-19*	*20-*							*合計*	*累計*
RSウイルス感染症	男	3	6	15	8	2		2														36	733
	女	2	7	8	6	4																27	704
咽頭結膜熱	男		2			1	1		2				1									7	555
	女			1	1	2			1													5	444
A群溶連菌咽頭炎	男					3	5	4	6	2	3	2	2									27	1514
	女					5	2	8	3	1	4	1	1									25	1295
感染性胃腸炎	男		5	14	7	6	5	3	3	3	2	1	10	1	2							62	3219
	女	1	2	6	3	3	6	3	1	3	1	1	6		9							45	2764
水痘	男			1					1	2	1											5	251
	女			1		1		2	1	1	1		2									9	250
手足口病	男		5	9	17	4	3	6					1									45	1590
	女	2	4	20	6	3	2															37	1290
伝染性紅斑	男											1										1	39
	女							1	1			1										3	52
突発性発しん	男		3	4		1																8	370
	女		3	6																		9	322
百日咳	男																						4
	女																						5
ヘルパンギーナ	男		2	4	2	1	1	1														11	313
	女		2	5	2	2	1															12	288
流行性耳下腺炎	男				1	1	2		1			1	1									7	407
	女																						375
年齢区分	*年齢*	*0-5M*	*6-11M*	*1歳*	*2*	*3*	*4*	*5*	*6*	*7*	*8*	*9*	*10-14*	*15-19*	*20-29*	*30-39*	*40-49*	*50-59*	*60-69*	*70-*		*合計*	*累計*
急性出血性結膜炎	男																						2
	女																						
流行性角結膜炎	男	1														1	1					3	125
	女					1										1	1					3	113
年齢区分	*年齢*	*0歳*	*1-4*	*5-9*	*10-14*	*15-19*	*20-24*	*25-29*	*30-34*	*35-39*	*40-44*	*45-49*	*50-54*	*55-59*	*60-64*	*65-69*	*70-*					*合計*	*累計*
細菌性髄膜炎	男																						8
	女																						9
無菌性髄膜炎	男																						19
	女																						7
マイコプラズマ肺炎	男				1																	1	60
	女			2																		2	51
クラミジア肺炎	男																						
	女																						1
感染性胃腸炎（ロタウイルス）	男																						26
	女																						26

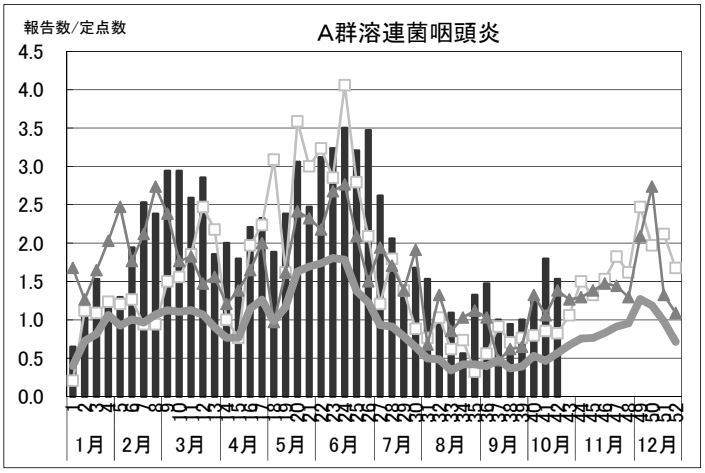
❖注目疾患の動向❖全て定点当たり報告数

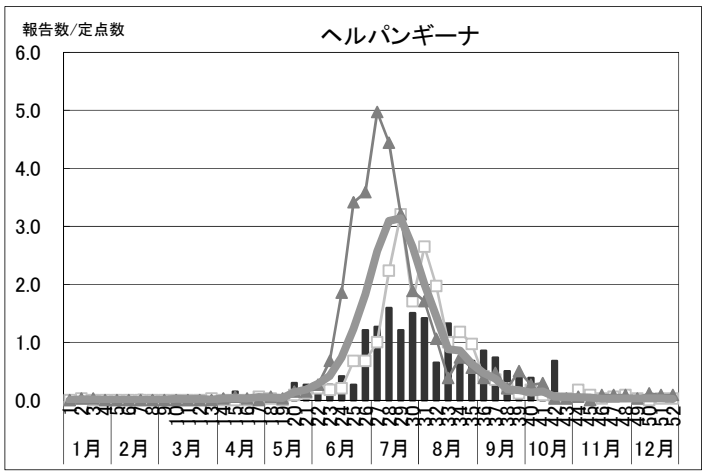
H29　H28　H27　過去10年平均

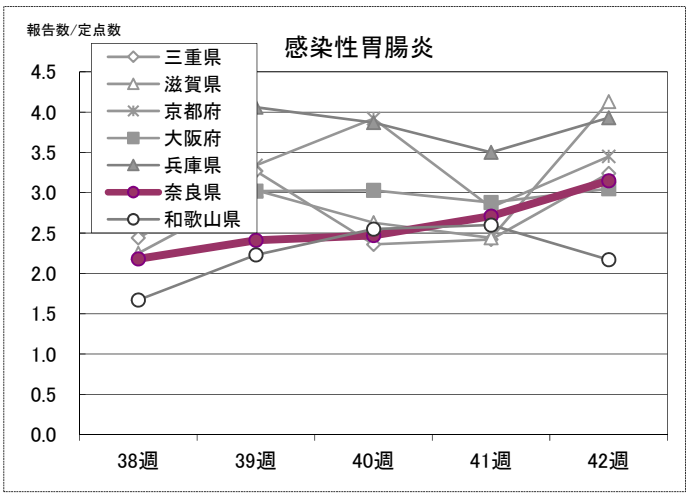


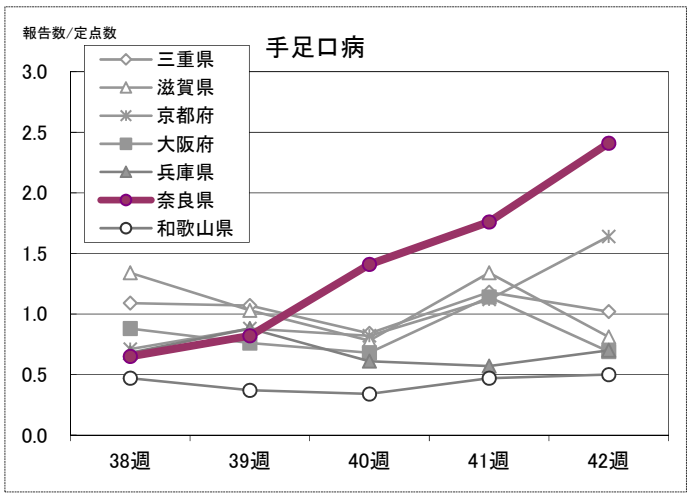


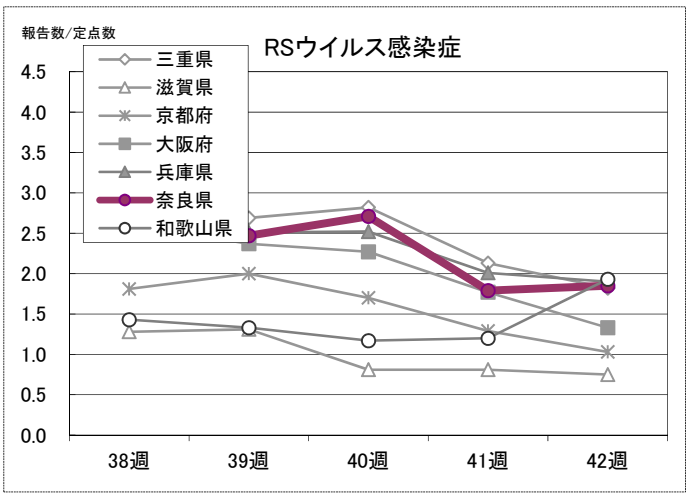












ノロウイルスについて。～その２～

今回は、流行拡大を防ぐために、どのようにウイルスが拡がるか及び気をつけることについてです。

◆どのように拡大するのか？

二枚貝（牡蛎など）の喫食では、食べた個人だけが食中毒になりますが、ほとんどの場合、感染症として拡大し、二枚貝の食中毒よりも多くの患者が発生します。

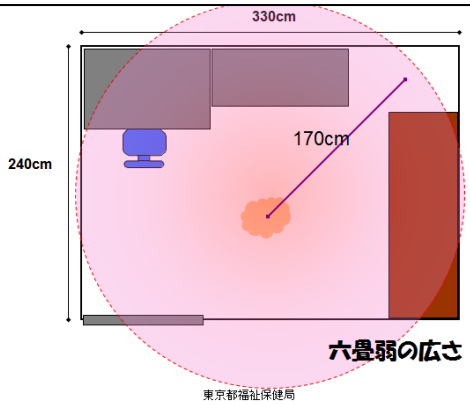
「トイレを起点とするノロウイルス汚染拡大の検証」
長野県北信保健福祉事務所

便から拡がる

- 下痢便の場合、便器やその周辺（便座の裏など）に飛び散り、ウイルスが拡がります。
- 通常、紙で拭き取りますが、拭くときに指先を汚染したり、肛門周囲のおしりに飛び散ったしずくで、袖口や親指の根元あたりが汚れます。
- その手で、水を流すノズル→ドアを開ける→手洗い水栓を触るため、それらは汚染されていきます。また、不十分な手洗いでは、手の汚れは残ったままです。
- 元気な人が、水を流すノズル→ドアを開ける→手洗いする時、手洗いが不十分だと、その手にはウイルスが付着してしまいます。
- その手で、ドアノブや電気スイッチなど、皆が触るところを経由して、拡大していきます。

嘔吐物から拡がる

「社会福祉施設におけるノロウイルス予防対策
～汚染経路の分析とその対策～」
東京都多摩府中保健所



- 出来るだけ人が少ないところで嘔吐できれば良いのですが、通常、生活環境の場で嘔吐することが多いです。
- 立ったままで嘔吐するなど、ある程度の高さから嘔吐すると、飛び散る範囲も広くなります。1m の高さから嘔吐したとすると、周辺半径 170cm に飛び散ることがわかっています。
- 嘔吐物を処理し、見かけ上きれいになったようでも、残存したウイルスが、そこを通る靴底、台車の車輪などに付着し、拡大していきます。
- 飛び散ったり、乾燥した嘔吐物が乾燥すると、ウイルスが空気中に浮遊し、部屋にいる人に感染します。

不顕性感染患者から拡がる

- 症状が全く出ない患者（不顕性感染者）も、便には大量にウイルスを排出します。患者も症状改善後しばらく（3 週間前後）、便中にウイルス排出が続きます。
- 調理従事者（無症状で健康者）で、流行期には１２％が不顕性感染していたという調査結果もあります（２０１５年福島県衛生研究所年報）。調理従事者は、自身が感染しないように、普段から食事内容（十分な加熱を心がける等）、家族の健康状態にも注意しましょう。

◆気をつけること

- 流行時期には、健康であっても、誰もが皆、トイレ利用の後には十分に手洗いすること。
  手洗い後、水を止める必要がある場合、洗った手を再び汚染しないように、汚染された蛇口を直接触らず、ペーパーなどを利用して止めるようにする。
  流行期が秋から冬のため、温水を使用し、丁寧に手洗いするよう心がける。
- 嘔吐物を処理するときは、①素早く対応、②乾燥させない、③広範囲に飛び散る事に注意する。
  処理する人自身が感染しないように注意し、処理中・処理後も換気に注意する。
- 調理従事者、福祉施設等職員の方々は、流行前から、感染性胃腸炎の流行状況に注視し、早めに対策を整えるようにしましょう。

出来ていますか？衛生的な手洗い（リーフレット）
http://www.mhlw.go.jp/topics/syokuchu/dl/link01-01_leaf02.pdf